



令和2年10月9日(金) 第20号



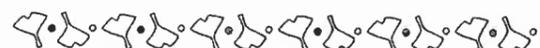
## 心を込めて取り組む

言葉の  
つがい は 心の  
つがい

10月1日におこなわれた第3回実力テストがすべて返されました。結果はもちろん人それぞれ違いますが、学年全体としては、非常に厳しいものとなりました。5教科合計の平均点も、通常なら250点ぐらいあるはずですが、今回は220点台と大きく落ち込みました。ここのところ、学年集会などで「学年全体がフワフワして落ち着いていない」という話をしていますが、それが明確に点数となって表れたと考えるべきでしょう。テストの結果(点数)は、毎日の学校生活と密接につながっており、その学校生活は家庭生活ともつながっており、そこに友だちとの人間関係や、家族との関係もつながっていて、要するに、すべてが同じ線の上に並んでいるのです。「学校生活をテキストにしている、家庭生活も充実していない」という人が、「でもテストでは高得点を取っている」ということなどあり得ません。裏を返せば、学校生活をテキストに過ごしている人は、どれだけ勉強をしているように見えても、テストでは苦戦するといっても過言ではないでしょう。



そんな状況の中、来週12日(月)・13日(火)は2学期の中間テストを迎えます。実力テストとは違ってテスト範囲のある定期テストは、努力すればするほど、点数にも結びつきやすいといえます。その点、キミたちの様子といえば、たとえ10分間だったとしても、みんなが静かに集中して勉強をしているように見えます。しかし、それでも先日の実力テストでは散々な結果に終わりました。では、一体何がいけなかったのでしょうか？ 最近の学年の様子と合わせて考えてみると、やはり、原因はひとつでしょう。つまり、勉強していても気持ちが入っていないということです。



《心ここにあらず》という言葉がありますが、何をやるにしても、気持ちが入っていないと良い結果には結びつきません。スポーツにしても勉強にしても同じことがいえます。他のことに気を取られながら、「心ここにあらず」の状態に取り組んでいても、思うような結果が得られないのです。では、最近の3年生はどうでしょうか？ フワフワと落ち着かない状態のまま、勉強に取り組んでいても、やはり結果に結びつかないのではないのでしょうか。来週の中間テストは努力が点数に結びつきやすいはずですが、先生たちは、少し心配しながら、キミたちを見守っています。



## みんなの[安心]のために



みんなが楽しみにしている修学旅行が近づいています。先日の総合の時間は、修学旅行3日目におこなわれる「高山市内散策」の行動計画を考えました。タブレットでインターネットも使いながらお店などを調べましたが、なかなか作業が進まず苦労しました。でも、美味しそうな食べ物や、買いたいお土産を調べてワイワイ楽しんでいる様子は、とても微笑ましいものでした。改めて、「みんなで修学旅行に参加して、笑顔で大阪に帰ってきたい」と心から願いました。



さて、安心して修学旅行に参加するために、健康観察を強化する2週間前になろうとしています。もう一度説明しますが、10月14日(水)以降、発熱などの症状が見られた人は、必ず病院を受診して、「修学旅行に参加してもよい」という“お墨つき”をもらう必要があります。お金のかかる診断書は不要ですが、学校で作成したプリントがあるので、それを保護者の方が記入して提出してください。最近では“陽性”だけど“無症状”ということも数多く見られるようです。みんなが安心して修学旅行に参加できるように、くれぐれも軽く考えず、病院へ行くようにしてください。



また、コロナに関わらず、ぜんそくやアレルギーなども含めて、何らかの“持病”のある人も、やはり修学旅行に出発するまでに病院でお医者さんと相談して“お墨つき”をもらってください。すでにキミたちも知っている通り、もしものことがあれば保護者の方が長野県白馬や岐阜県飛騨高山まで迎えに来ていただかないといけないようなこともあり得るのです。もちろん保護者の方はご協力して下さると思いますが、それでも、ご家庭やお仕事の段取りのことを考えると、そのご負担は計り知れません。できるだけそのような事態は避けたいものです。

3日間の修学旅行は、始まってしまえばアツという間に過ぎ去っていくとは思いますが、もしものことがあった場合には、(決して大げさではなく)学年全体のプログラムに影響を与えることもあります。やっと実現にこぎ着けるところまで来た修学旅行です。みんなが万全を期して、修学旅行に臨んでほしいと思います。それでこそ“みんなの安心”が確保できるのだと思います。



### 保護者のみなさまへ

上の文章にも書きましたが、10月14日(水)から修学旅行の2週間前になります。毎日の健康観察にご協力をいただいているところですが、この2週間の間は、特に気をつけて健康観察を続けていただきたいと思います。なお、この間に発熱などの症状が見られた場合は、必ず病院を受診していただき、医師からの「修学旅行に行っても大丈夫だ」という判断を仰いでください。その際、保護者の方に書いていただく書類がありますので、それに必要事項を記入し、学校までご提出ください。また、日ごろから病院にかかるような持病のある場合は、発熱などの症状が見られなくても、出発までに医師と相談し、やはり「修学旅行に行っても大丈夫だ」という判断を仰いでください。みんなが安心して修学旅行に参加できるように、みなさまのご協力をお願いいたします。

